

目 次

第1章 調査の概要.....	2
1 調査目的.....	2
2 調査方法.....	2
3 回収結果.....	2
4 本調査を行うにあたって.....	2
5 回答者の属性.....	4
第2章 調査結果.....	8
1 現在の生活実感について.....	8
(1) 住みやすさ.....	8
(2) 定住志向.....	9
2 小金井市の取組について.....	15
(1) 全体の満足度.....	16
(2) 満足度平均スコア結果.....	18
(3) 分野・項目別の満足度.....	20
(4) 全体の重要度.....	68
(5) 重要度平均スコア結果.....	70
(6) 満足度と重要度の関係.....	72
(7) 今後、特に優先的に進めていく必要がある取組について.....	78
3 地域活動に対する参加状況・参加意向について.....	80
4 小金井市の重点プロジェクトの取組についての現在の実感について.....	90
5 市域を超えた行政サービスについて.....	109
6 自由意見のとりまとめ.....	110
平成26年度 小金井市市民意向調査 調査票.....	112

第1章 調査の概要

1 調査目的

この市民意向調査は、「第4次小金井市基本構想・後期基本計画」の策定にあたり、市民が小金井市政に対して、どのような要望を持ち、何を重要と考えているのかを把握することを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査地域・・・小金井市内全域
- (2) 調査対象・・・小金井市内に在住する満18歳以上の男女2,000人
- (3) 抽出方法・・・無作為抽出
- (4) 調査方法・・・郵送配付・郵送回収
- (5) 調査期間・・・平成26年7月10日～8月20日
- (6) 調査票・・・本報告書の巻末を参照
- (7) 調査機関・・・有限責任監査法人トーマツ

3 回収結果

- (1) 有効回答数・・・713人
- (2) 有効回答率・・・35.7%

4 本調査を行うにあたって

- (1) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数(回答者数又は回答数)は、各グラフの横にn=〇、又はグラフ中に()で表記した。
- (2) 本報告書では、マイナス記号に「-」を使用した。
- (3) 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも100.0%ではない場合(99.9%又は100.1%等)がある。また、スコア化した数値では、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示している。

標本抽出法による調査の場合は、ここで示された数値(%)をそのまま18歳以上の全市民(100,154人)の回答として単純に置き換えると、多少の誤差が生じる。そこで、次式により標本誤差を計算して、18歳以上の全市民の回答を推測する。

なお、標本誤差は、比率算出の基数(n)及び回答比率(P)によって異なってくる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数 (100,154)

n = 比率算出の基数 (713)

P = 回答比率

※母集団数：18歳以上の市内在住者の総数(平成26年6月15日現在)

標本誤差の計算結果が次表である。「全体の回答者数713人の、ある設問中の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は±3.7%（最大で3.7%）である」ことを示している。

回答の比率（P）	標本誤差（b）
10%または90%	±2.2
20%または80%	±3.0
30%または70%	±3.4
40%または60%	±3.7
50%	±3.7

(4) 第2章の調査結果において、「性別」、「年齢層別」、「地域別」の合計が713人にならないことがあるが、これは「性別」、「年齢」、「地域」に関して無効・無回答の回答者を除いたためである。

(5) 分析に際し、回答内容を集約して行ったものがある。集約した内容は下記のとおりである。

【回答項目】問8（4） 【集約項目】（地域区分）

武蔵小金井地域	1 関野町2丁目	2 緑町3～5丁目	3 中町3丁目
	4 本町	5 桜町	6 貫井北町
	7 貫井南町3丁目		
東小金井地域	8 東町	9 梶野町	10 関野町1丁目
	11 緑町1～2丁目	12 中町2丁目	
野川地域	13 中町1、4丁目	14 前原町	
	15 貫井南町1、2、4、5丁目		

(6) 分析に際し、前回の平成20年度調査と同じ（または類似の）質問に関しては、参考として平成20年度の調査結果を掲載している。なお、質問文が若干異なるものについては注意書きを付している。

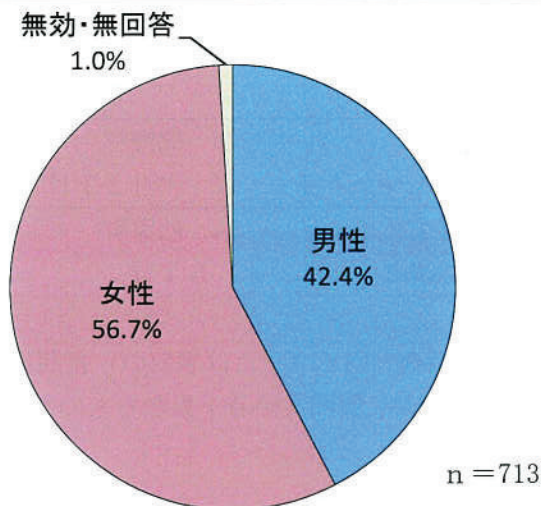
5 回答者の属性

本調査にご回答いただいた市民の属性を示す。（調査票問8の結果）

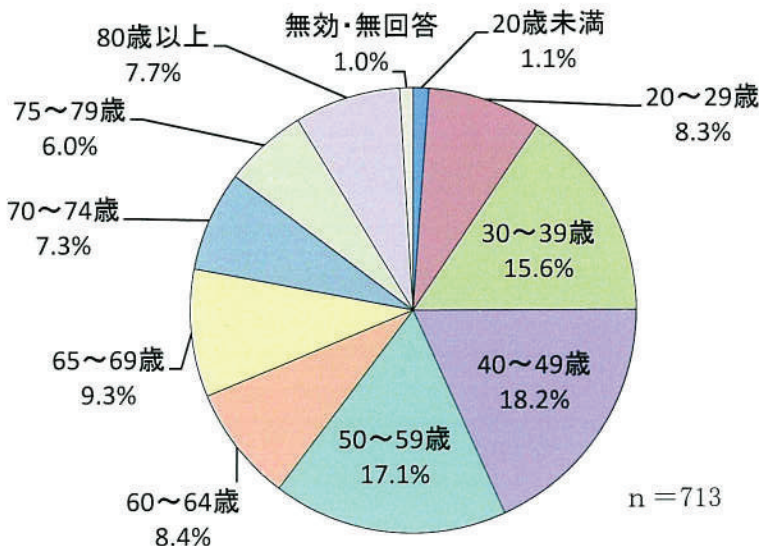
問8 あなた自身のことについて、当てはまるものを1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- － 性別は、「男性」（42.4%）、「女性」（56.7%）であり、女性のほうが多い。
- － 年齢は、「40～49歳」（18.2%）が最も多く、次いで「50～59歳」（17.1%）が多い。
- － 居住年数は、「30年以上」（35.9%）が最も多く、次いで「5年未満」（21.0%）、「10～19年」（19.2%）である。
- － 居住地は、「武蔵小金井地域」（46.0%）が最も多く、次いで「東小金井地域」（29.5%）、「野川地域」（22.7%）である。
- － 職業は、「会社員・公務員などの勤め人」（32.4%）が最も多く、次いで「無職」（19.8%）、「専業主婦・主夫」（18.9%）である。
- － 通勤・通学地は、「23区内」（44.4%）が最も多く、次いで「23区以外の都内」（25.4%）、「小金井市内」（19.7%）である。
- － 居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（53.0%）が最も多く半数を占めており、次いで「借家（マンション・アパートなど）」（17.1%）、「持ち家（マンションなど）」（15.7%）である。
- － 世帯構成は、「二世帯が同居（子どもと同居）」（41.1%）、「夫婦のみ」（28.8%）が多い。

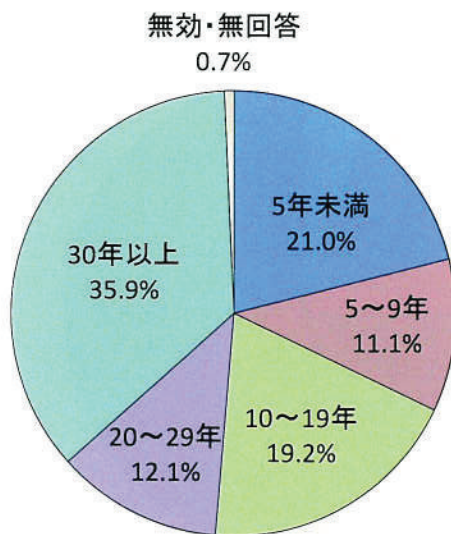
(1) 性別



(2) 年齢

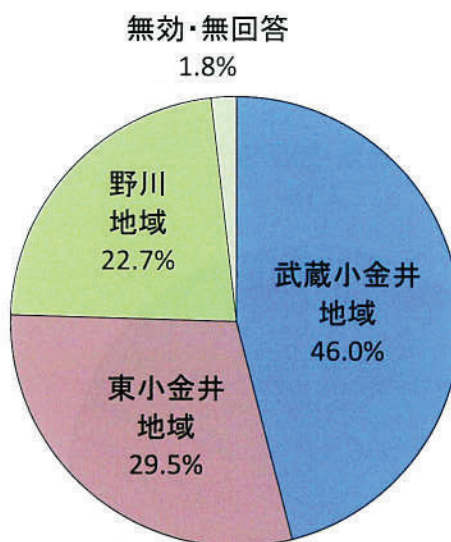


(3) 居住年数



n = 713

(4) 居住地



n = 713

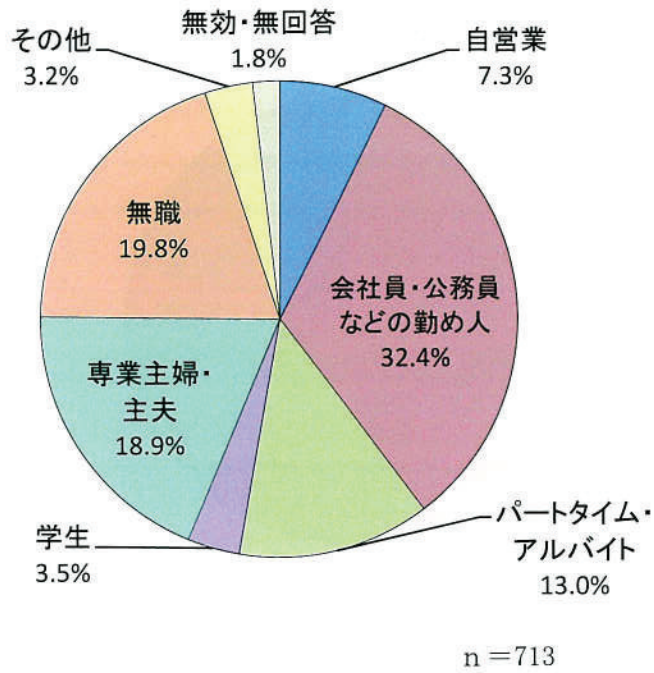
※居住地域詳細内訳

武蔵小金井地域	関野町 2丁目	緑町 3~5丁目	中町 3丁目	本町	桜町	貫井北町	貫井南町 3丁目
件数	5	56	27	124	28	66	22
(%)	0.7	7.9	3.8	17.4	3.9	9.3	3.1

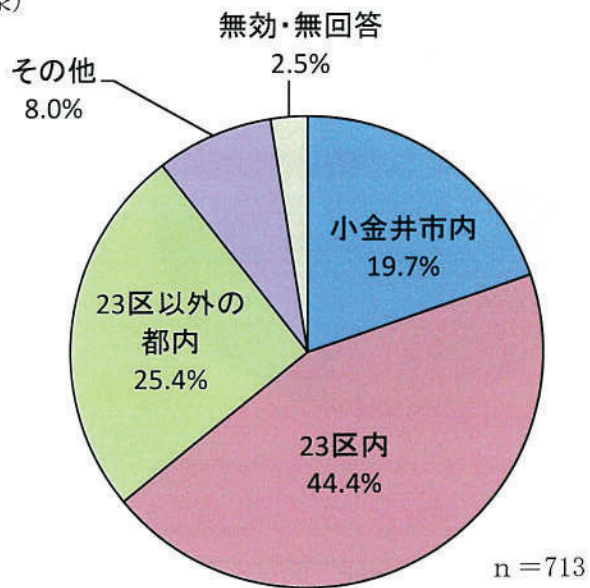
東小金井地域	東町	梶野町	関野町 1丁目	緑町 1~2丁目	中町 2丁目
件数	92	53	2	32	31
(%)	12.9	7.4	0.3	4.5	4.3

野川地域	中町 1、4丁目	前原町	貫井南町 1、2、4、 5丁目	無回答	計
件数	27	82	53	13	713
(%)	3.8	11.5	7.4	1.8	100.0

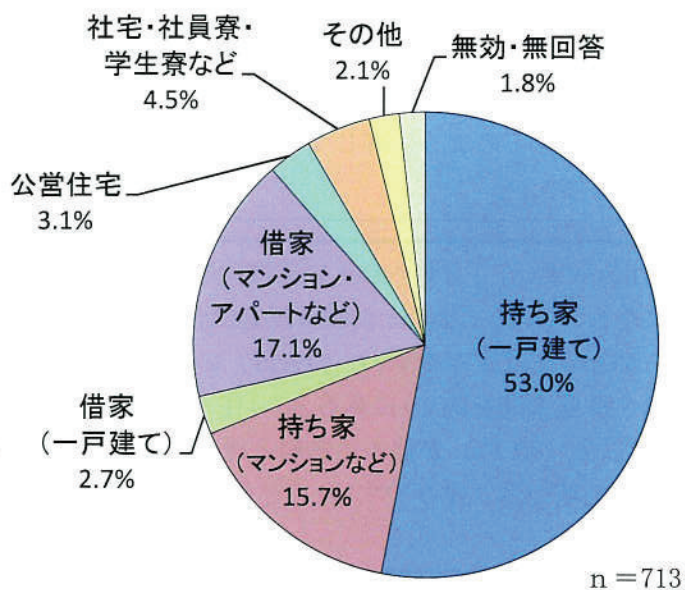
(5) 職業



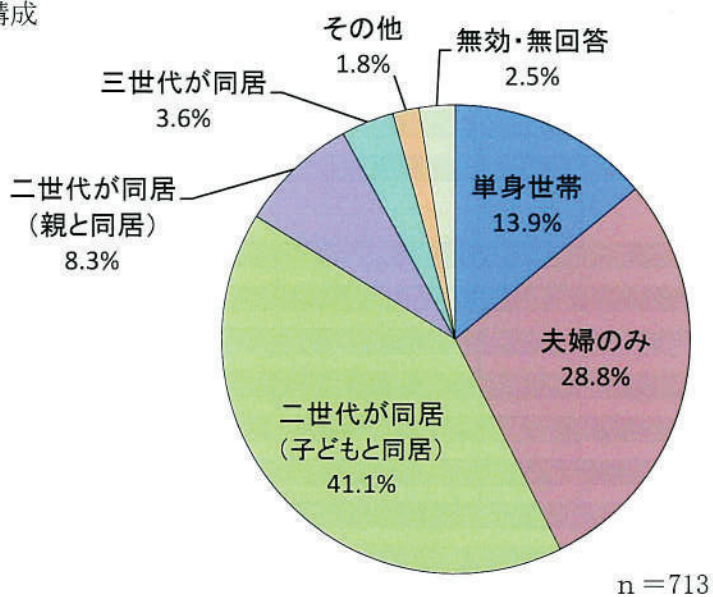
(6) 通勤又は通学地 ((5) で「自営業、会社員・公務員、パートタイム・アルバイト、学生」を選択した方が対象)



(7) 居住形態



(8) 世帯構成



(9) 同居の家族

	いる	いない	無効・無回答
①就学前 (0～5歳)	13.6%	48.7%	37.7%
②小学生	10.7%	50.1%	39.3%
③中学生	8.1%	50.9%	41.0%
④65歳以上	23.8%	45.0%	31.1%

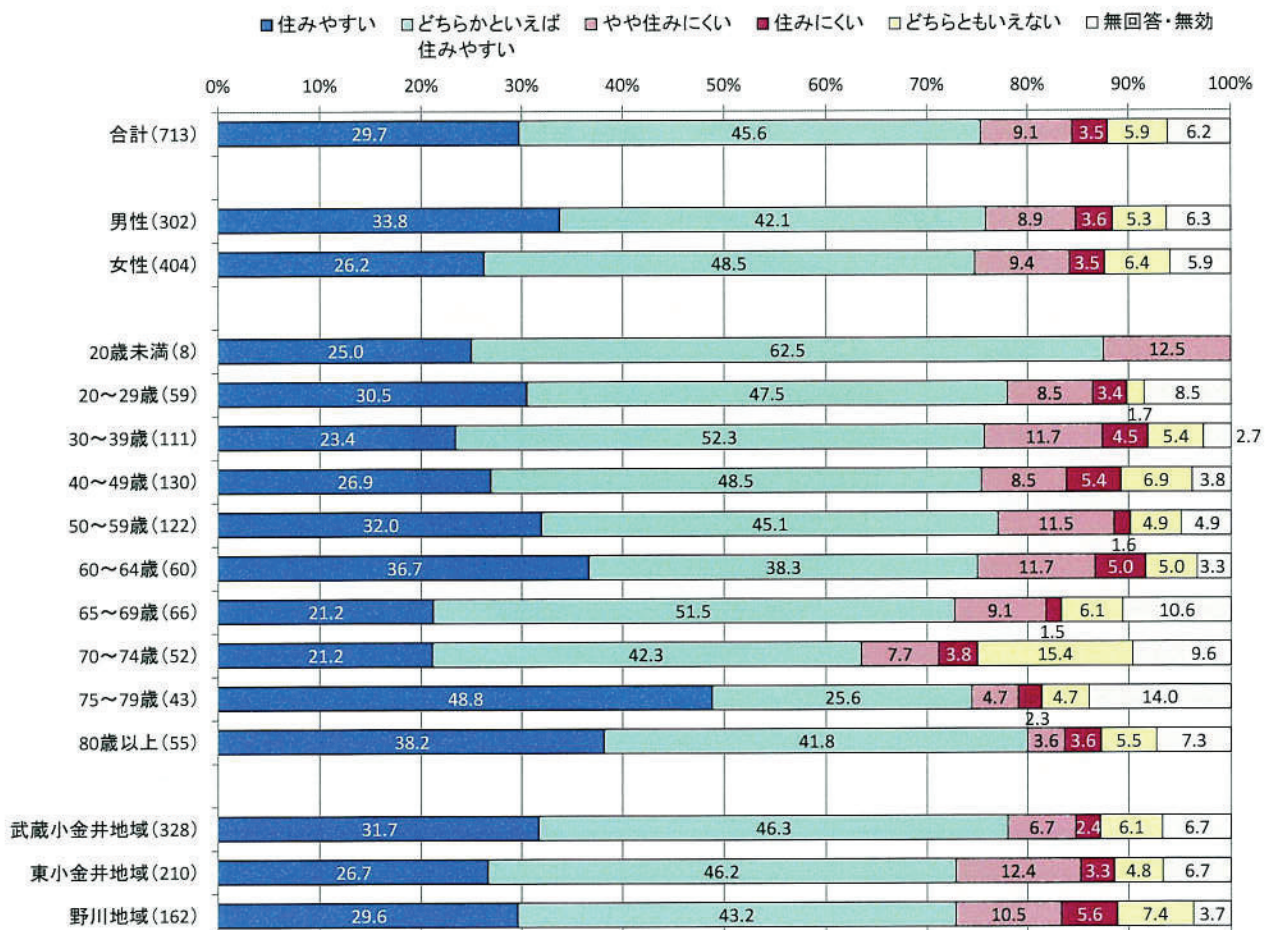
第2章 調査結果

1 現在の生活実感について

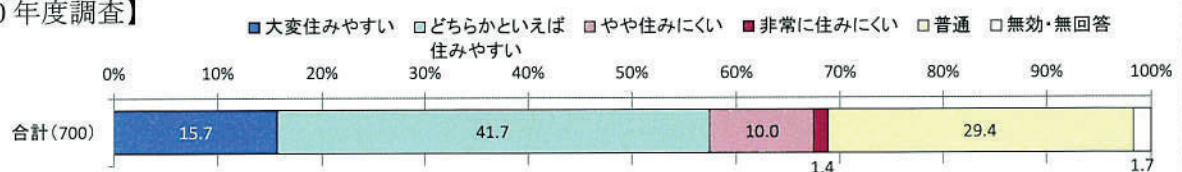
(1) 住みやすさ

問1 あなたは、小金井市の住み心地をどのように感じていますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- 住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせて75.3%と、4人に3人が肯定的な回答をしている。これは、前回の調査における肯定的回答率57.4%（「大変住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」の合計）のおよそ1.3倍に相当する。
- 年齢層別（回収件数の少ない20歳未満を除く）に見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせて80歳以上（80.0%）が他の年齢層と比べて高い。
- 地域別に見ると、武蔵小金井地域では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせて78.0%と多くなっている。



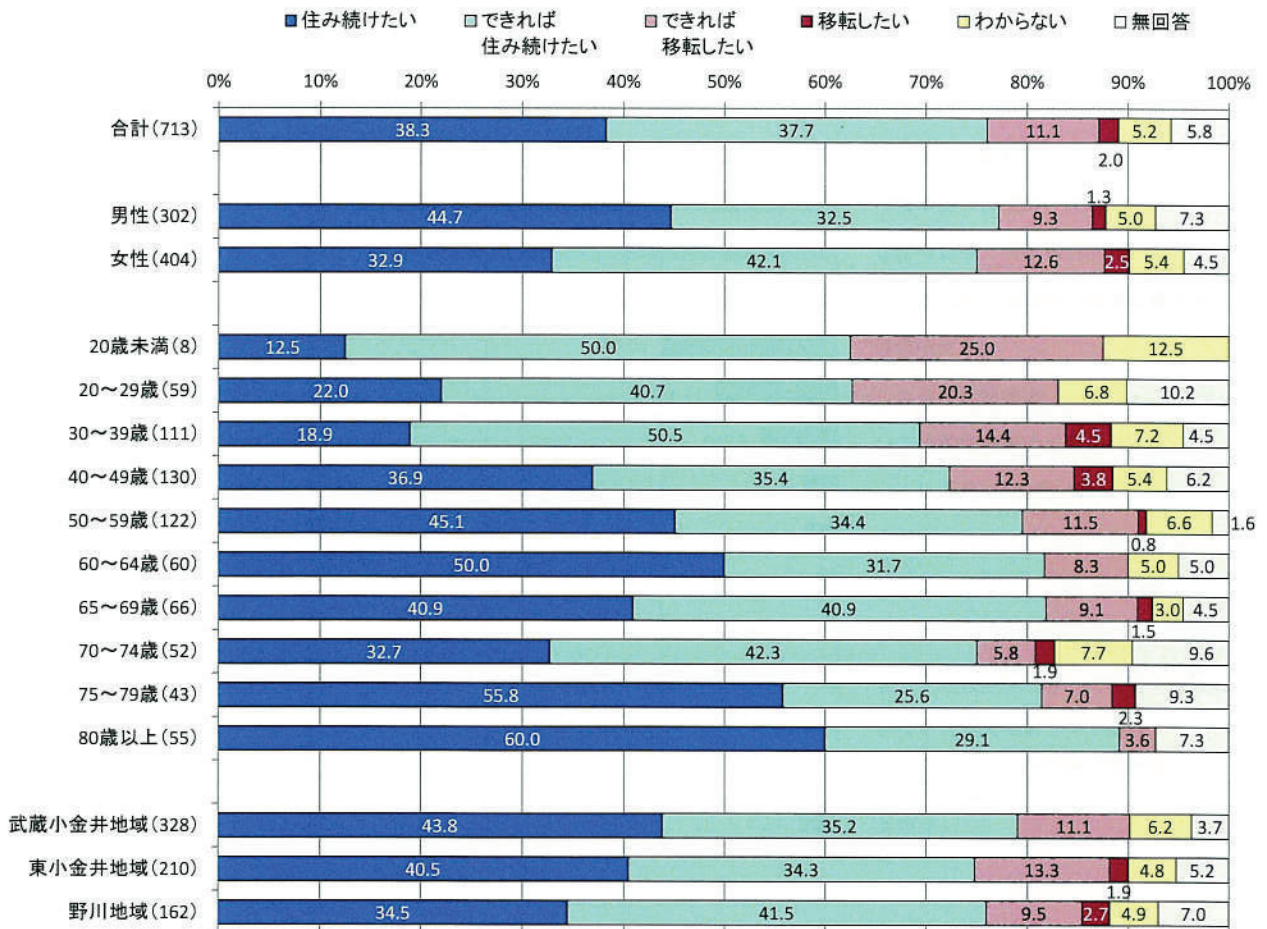
【H20年度調査】



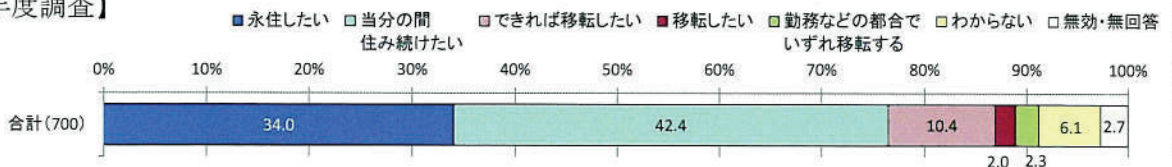
(2) 定住志向

問2 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んで番号に○をつけてください。また、その理由についてもお答えください。

- 「住み続けたい」が38.3%、「できれば住み続けたい」が37.7%となっており、全体として76.0%と、4人に3人が今後も住み続けたいと回答している。これは、前回の調査における肯定的回答率76.4%（「永住したい」＋「当分の間住み続けたい」の合計）とほぼ同水準である。
- 男女別にみると、「住み続けたい」では男性44.7%、女性32.9%と男性のほうが多い。
- 年齢層別では、全体として年齢層が上がるほど「住み続けたい」「できれば住み続けたい」の回答が増える傾向にある。

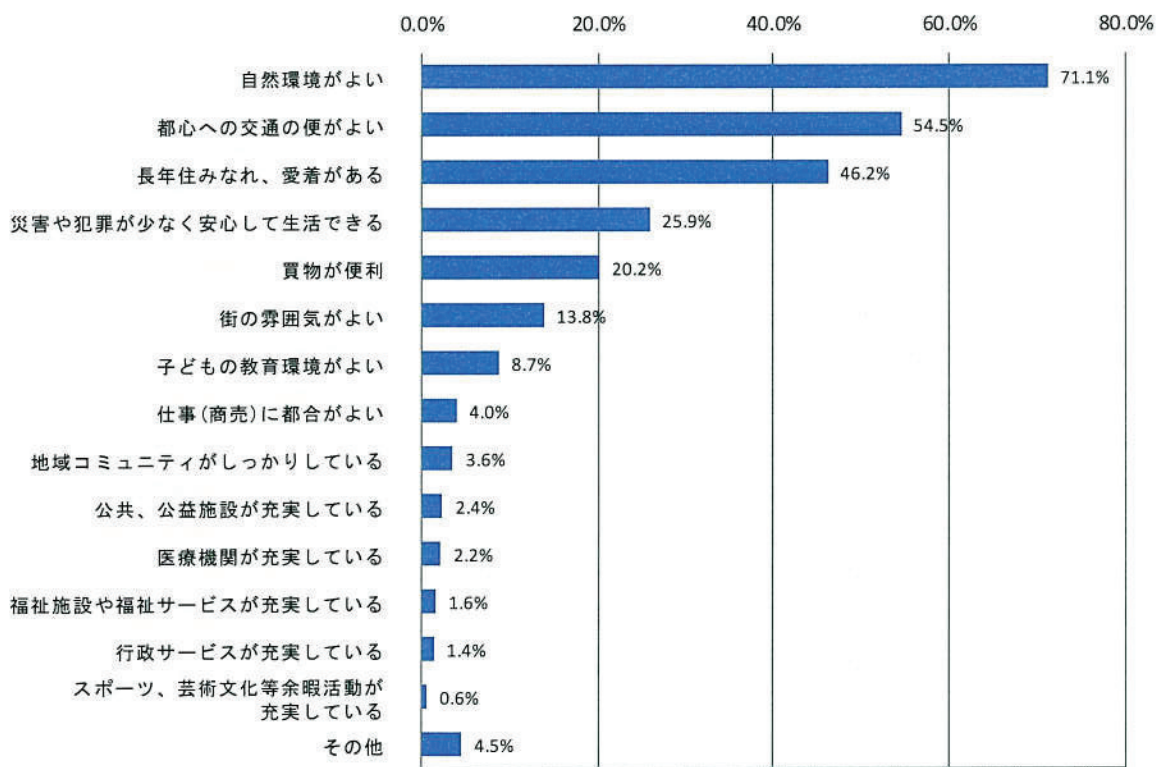


【H20 年度調査】



「住み続けたい」「できれば住み続けたい」を選んだ理由（3つまで）

- 今後も住み続けたい理由としては、「自然環境がよい」（71.1%）、「都心への交通の便がよい」（54.5%）、「長年住みなれ、愛着がある」（46.2%）となっている。
- 年齢層別（回収件数の少ない20歳未満を除く）に見ると、80歳以上で「自然環境がよい」よりも「長年住みなれ、愛着がある」の割合が高い。
- 地域別に見ると、野川地域で「都心への交通の便がよい」よりも「長年住みなれ、愛着がある」の割合が高い。
- その他の回答として、「持ち家（ローン/土地）があるから」、「親が住んでいるから」、「子どもが通学しているから」などがあつた。



n = 506

(単位：%)

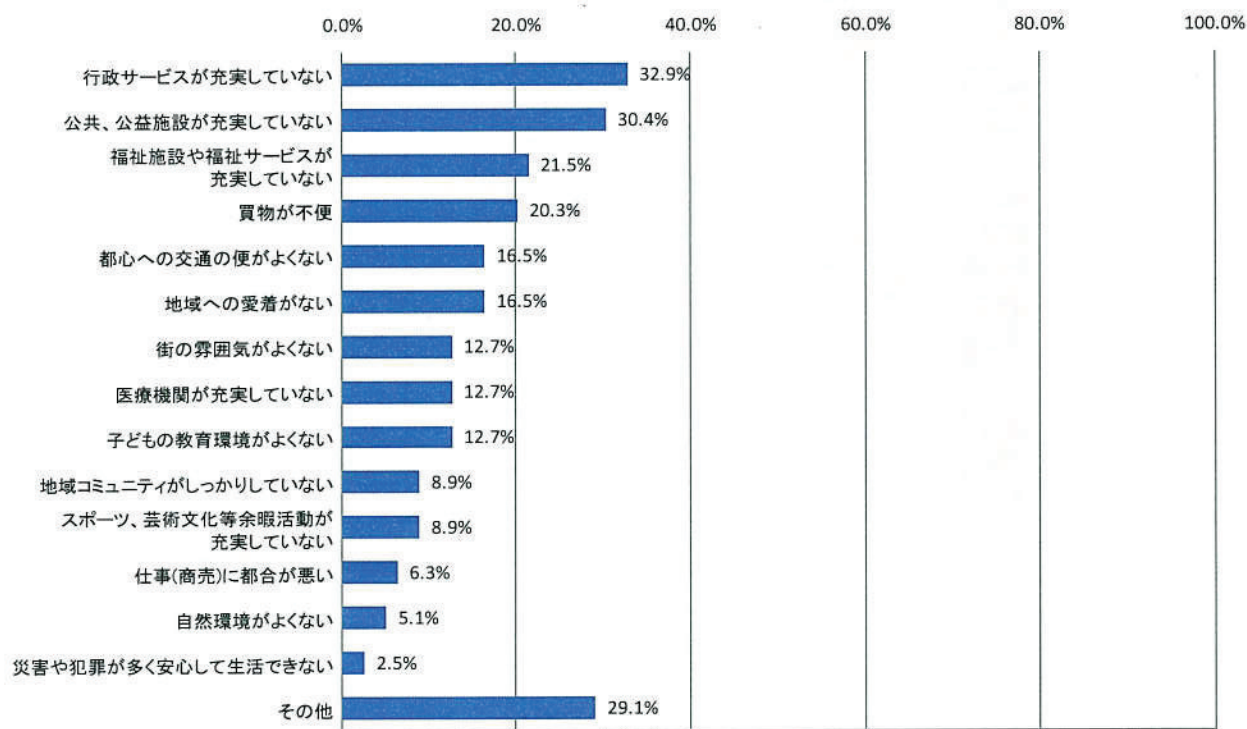
	自然環境がよい	都心への交通の便がよい	長年住みなれ、愛着がある	災害や犯罪が少なく安心して生活できる	買物が便利	街の雰囲気が良い	子どもの教育環境がよい	仕事(商売)に都合がよい	地域コミュニティがしっかりしている	公共、公益施設が充実している	医療機関が充実している	福祉施設や福祉サービスが充実している	行政サービスが充実している	スポーツ、芸術文化等余暇活動が充実している	その他
合計(506)	71.1	54.5	46.2	25.9	20.2	13.8	8.7	4.0	3.6	2.4	2.2	1.6	1.4	0.6	4.5
男性(219)	70.3	55.7	47.0	27.4	15.1	14.2	7.3	4.6	5.0	3.2	1.8	1.8	0.5	0.9	5.5
女性(282)	72.0	53.2	45.4	24.8	24.5	13.5	9.6	3.5	2.5	1.8	2.5	1.1	1.8	0.4	3.9
20歳未満(5)	60.0	40.0	80.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳(33)	69.7	63.6	30.3	21.2	12.1	24.2	3.0	9.1	0.0	15.2	0.0	0.0	6.1	0.0	3.0
30～39歳(69)	60.9	50.7	27.5	15.9	26.1	24.6	11.6	8.7	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	0.0	5.8
40～49歳(88)	71.6	54.5	33.0	18.2	19.3	13.6	20.5	3.4	3.4	3.4	1.1	0.0	0.0	1.1	8.0
50～59歳(92)	77.2	52.2	40.2	32.6	18.5	12.0	16.3	3.3	5.4	3.3	0.0	0.0	0.0	1.1	4.3
60～64歳(44)	68.2	47.7	52.3	34.1	13.6	13.6	0.0	4.5	6.8	0.0	6.8	2.3	0.0	0.0	6.8
65～69歳(54)	81.5	55.6	64.8	22.2	27.8	7.4	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
70～74歳(37)	64.9	59.5	59.5	29.7	32.4	8.1	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	2.7
75～79歳(35)	77.1	62.9	57.1	31.4	11.4	8.6	0.0	0.0	2.9	0.0	8.6	5.7	0.0	2.9	0.0
80歳以上(44)	68.2	50.0	72.7	36.4	20.5	9.1	0.0	0.0	6.8	0.0	4.5	4.5	6.8	0.0	4.5
武蔵小金井地域(234)	70.5	53.4	43.2	25.6	26.9	15.0	9.4	3.8	3.4	2.6	2.6	1.3	1.3	0.4	2.1
東小金井地域(149)	70.5	63.8	49.7	25.5	11.4	15.4	8.7	4.0	2.0	2.7	0.7	1.3	2.0	0.7	4.7
野川地域(117)	72.6	44.4	47.9	27.4	17.1	9.4	6.8	3.4	6.0	1.7	3.4	2.6	0.9	0.9	9.4

(参考) H20 年度調査で選択された上位 5 項目

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
項目	自然環境がよい	都心への交通の便がよい	長年住みなれ、愛着がある	災害や犯罪が少なく安心して生活できる	買物が便利
割合	72.8%	56.5%	45.6%	25.5%	15.4%

「できれば移転したい」「移転したい」を選んだ理由（3つまで）

- 今後住み続けたくない理由としては、「行政サービスが充実していない」（32.9%）、「公共、公益施設が充実していない」（30.4%）、「福祉施設や福祉サービスが充実していない」（21.5%）となっている。
- 地域別に見ると、東小金井地域、野川地域では「買物が不便」の割合が高く、武蔵小金井地域では「地域への愛着がない」の割合が高い。
- その他の回答として、「ごみの問題」、「子育ての問題」などがあつた。



n = 79

(単位：%)

	行政サービスが充実していない	公共、公益施設が充実していない	福祉施設や福祉サービスが充実していない	買物が不便	都心への交通の便がよい	地域への愛着がない	街の雰囲気がよくない	医療機関が充実していない	子どもの教育環境がよくない	地域コミュニティがしっかりしていない	スポーツ、芸術文化等余暇活動が充実していない	仕事（商売）に都合が悪い	自然環境がよくない	災害や犯罪が多く安心して生活できない	その他
合計(79)	32.9	30.4	21.5	20.3	16.5	16.5	12.7	12.7	12.7	8.9	8.9	6.3	5.1	2.5	29.1
男性(25)	36.0	32.0	20.0	20.0	12.0	16.0	12.0	12.0	12.0	24.0	8.0	4.0	8.0	0.0	24.0
女性(54)	31.5	29.6	22.2	20.4	18.5	16.7	13.0	13.0	13.0	1.9	9.3	7.4	3.7	3.7	31.5
20歳未満(11)	18.2	27.3	9.1	27.3	36.4	36.4	9.1	0.0	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	18.2
20～29歳(2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳(19)	31.6	26.3	21.1	21.1	21.1	5.3	15.8	5.3	15.8	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	36.8
40～49歳(19)	47.4	15.8	21.1	10.5	10.5	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3	10.5	5.3	10.5	10.5	36.8
50～59歳(11)	27.3	45.5	45.5	18.2	18.2	0.0	0.0	36.4	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1
60～64歳(5)	80.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
65～69歳(6)	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0
70～74歳(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
75～79歳(3)	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
武蔵小金井地域(34)	29.4	26.5	14.7	8.8	14.7	26.5	11.8	8.8	14.7	11.8	2.9	0.0	5.9	2.9	41.2
東小金井地域(29)	37.9	37.9	27.6	34.5	20.7	10.3	6.9	17.2	3.4	6.9	6.9	6.9	3.4	0.0	24.1
野川地域(14)	35.7	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1	28.6	14.3	21.4	0.0	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3

■…1位 ■…2位 ■…3位

※本質問は問2において「できれば移転したい」「移転したい」と回答した方を対象としているため、サンプル数が極端に少ない属性があります。分析結果の活用にあたっては注意が必要です。

(参考) H20年度調査で選択された上位5項目

順位	1位	2位	3位	4位	5位
項目	公共、公益施設が充実していない	買物が不便	行政サービスが充実していない	街の雰囲気がよくない	地域への愛着がない
割合	37.2%	33.7%	32.6%	23.3%	20.9%

